

よく耳にするフェロモン
フェロモンとは一体、何？

まだまだ解明されていないフェロモン。今回はあえてそのフェロモンについてお話ししたいと思います。フェロモンについては昆虫での研究が主で、道標フェロモン、集合フェロモン、警報フェロモン、性周期同調フェロモンなど様々な種類があります。しかし、人間のフェロモンの話をする場合は、性フェロモンのことを指すと捉えられるのが一般的と言えるでしょう。では、フェロモンとは何なのか。7月号でもフェロモンは包容力だとお話ししましたが、フェロモンとはひきつけるもの、つまり『魅力』だと思うのです。

フェロモンは生まれつき？
努力で手に入れられる？

では、フェロモンは生まれつき備わっ

ているものなのか。そんなはずはありません。ある時、きつとそれは突然に、体の内面からにじみ出る、いやこぼれ出てくるものだと思います。では、どうすればでてくるのでしょうか。努力して出るものなのでしょうか。残念ですが、「フェロモンを作ろう」と思って作れるものではないのです。その人の積み重ねた経験がある量を超えると体から出てくる経験の副産物なのです。つまり、この満タンになった経験が溢れ出たときフェロモンになるのです。

遠回りすることは素晴らしい
フェロモンに必要な無駄の美学

フェロモンが欲しいと思えば、フェロモンいっぱいの人を真似をすればいいんでしょうか？フェロモンがある人は経験が豊富で選択の階

段を多くのぼってきています。しかし、成功もあれば失敗もあったはず。その階段すべては他人には見えないのです。フェロモンのある人の上手い部分だけをマネするだけでは到底フェロモンなんてできません。近道をせずに、無駄をいわず遠回りすることで、徐々に徐々に多くの階段をのぼって、経験を満タンにしていくのです。

フェロモンに欠かせない
覚えていておいてほしいこと

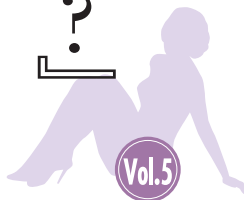
ただ忘れないでほしいのが、この時の選択は自分で決めた選択でなければならぬということ。生きていく上で様々な選択に迫られた際、どれだけ正面から受け止められるかどうか。他人に決められた選択では、うまくいかなかった

たときに自分で責任が負えません。だから解決出来ないし、別の方法を考える手立てもないのです。自分で決めたことの失敗は、ちゃんと次につながるのです。自分でした選択の数によって、その人の深さが決まる。どれだけたくさんの選択を、そして決定してきたかが大切なんです。そしてそんな人に『ひきつけられる』のです。ですから、みなさんは大いに悩んでください。その上で、自分で選択していつてほしいのです。失敗したっていいんです。それが、フェロモンという名のあなたの魅力になるんですから。

『フェロモンは

生まれつき備わっているもの？』

藤井靖成



筆者からもう一言

私は医者として、たくさんの人に接し、人が生きることとを考えてきました。どう生きるかはその人の自由なんです。だから自分で決めてください。そしてたくさん失敗してください。でも絶対に乗り越えられますよ。右を選んで間違いならば左を選び直せばいいんです。

著者プロフィール 藤井靖成

藤井クリニック院長。内科専門医であると同時に消化器内視鏡専門医・指導医として従事。胃がん、大腸がんの内視鏡治療・手術で磨いた技術と、豊富な経験をもとに美容外科の技術も習得。1万例の美容外科施術経験を積む。